

## 21. 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備促進について

関東部会提出

説明担当 坂東市

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、都心から半径およそ 40～60 キロメートルの位置に計画され、延長約 300 キロメートルの高規格幹線道路であって、東京湾アクアライン、東京外かく環状道路などと一体となって首都圏の広域的な幹線道路網を形成する首都圏 3 環状道路の一番外側に位置する環状道路です。

この開通によって、首都圏の慢性的な交通渋滞の緩和を初め、沿線地域間の連携・交流強化や近隣地域と連携した観光誘致など地域の活性化に大きく貢献することが期待されております。また、東日本大震災以降、特に災害時における広域連携による救助活動に際して、重要な役割を担うことが期待されています。

茨城県における首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の計画は、常磐自動車道より西側について平成 7 年 3 月に都市計画決定されましたが、平成 17 年 11 月になって、開通目標が当初の平成 24 年度から平成 26 年度以降と見直されたところであります。

よって、国においては、開通の前倒しを図り早期に整備するとともに、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の利便性を高めるためにも、接続・隣接する国道や幹線道路の整備についても、近隣市町村の意向を尊重し、推進されるよう強く要望いたします。